

14. 不思議なくらい彼の浮気がピタッと止まるテクニック

自分の中から憎しみを追い出したとき、パートナーの浮気は止まります。

パートナーの浮気に悩まされることは、女性も男性も同じです。相手の浮気をやめさせたい場合に潜在意識をどのように用いるかは、多分多くの人にとっては興味のあることだと思います。

マーフィー博士がこのような問題について一貫して述べていることは、相手を恨んだり非難したりするのではなく、自分の心を変えなさいということです。なかなか理解しにくいことですが、浮気をやめさせるにはこの方法が最善だと考えられます。

この種の問題で博士が紹介した最も劇的な例は、浮気をしている夫とその相手を妻が許した結果、なんと浮気の相手が急死してしまった話です。外交官を夫に持つ夫人は、夫の浮気相手を憎み、殺すことまで考えていました。しかし、マーフィー博士の忠告に従って、それまでとは百八十度違う態度をとるようになったのです。それは夫と浮気相手の女性を許すことでした。そうしたらまず夫が浮気をやめることを宣言し、次にその女性は急死してしまったのです。

この場合に一つ大切なポイントがあります。それはこうしたケースでの相手の許し方です。マーフィー博士は「一度許せばいい。後は放っておきなさい」と言います。そのことに気持ちをいつまでも向けていては、心がどう変化するかわからないという点で、この許し方のテクニックは記憶しておくべきでしょう。

実際にパートナーや浮気相手への憎しみを自分の心から追い出すのは容易ではないと誰しもが思います。どっちが憎いといえど、女性の場合は自分のパートナーよりも浮気相手のほうであることが多いようです。

ですが、ここが肝心なところで、相手を憎んだ分だけ、パートナーの心は自分から離れていくのです。ところが、逆に相手を許し、心を穏やかにすると、パートナーの心は自分のところへ戻ってきます。なぜかといえば、パートナーをそのような行為に走らせた原因の一端は必ず自分の側にもあるからなのです。それに嫉妬や憎しみかられた女性の姿というものは、決して魅力的ではありません。嫉妬にかられ、相手を憎むことは、ますますパートナーの心を引き離すことにほかなりません。だが、世の多くの女性はこの愚かしい方向へと走り、パートナーの浮気を助長してしまうのです。